

追加型投信 / 内外 / 株式

## 三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド 愛称 ブルーゴールド

限りある水資源に、未来の可能性を。



- ・投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被ることがあります。運用により信託財産に生じた損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。
- ・投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- ・投資信託は、書面による契約の解除（クーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。金融商品取引業者以外の金融機関は、投資者保護基金に加入していません。

お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは



商号等 株式会社 イオン銀行  
登録金融機関 関東財務局長（登金）第633号  
加入協会 日本証券業協会

設定・運用は



三菱UFJ投信

三菱UFJ投信 オリジナルキャラクター ©kero



金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号  
加入協会（社）投資信託協会、（社）日本証券投資顧問業協会

お客さま専用フリーダイヤル **0120-151034** 受付時間 / 9:00~17:00  
(土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

ホームページアドレス <http://www.am.mufg.jp/>

## 特色 1

世界（含む日本）の水関連企業の株式に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。

## ポイント 1

当ファンドにおける水関連企業とは ～明確な投資ユニバース～

原則として、以下の銘柄を水関連企業と定義します。

1.水関連事業から計上される売上高が、全体の過半数を占める企業

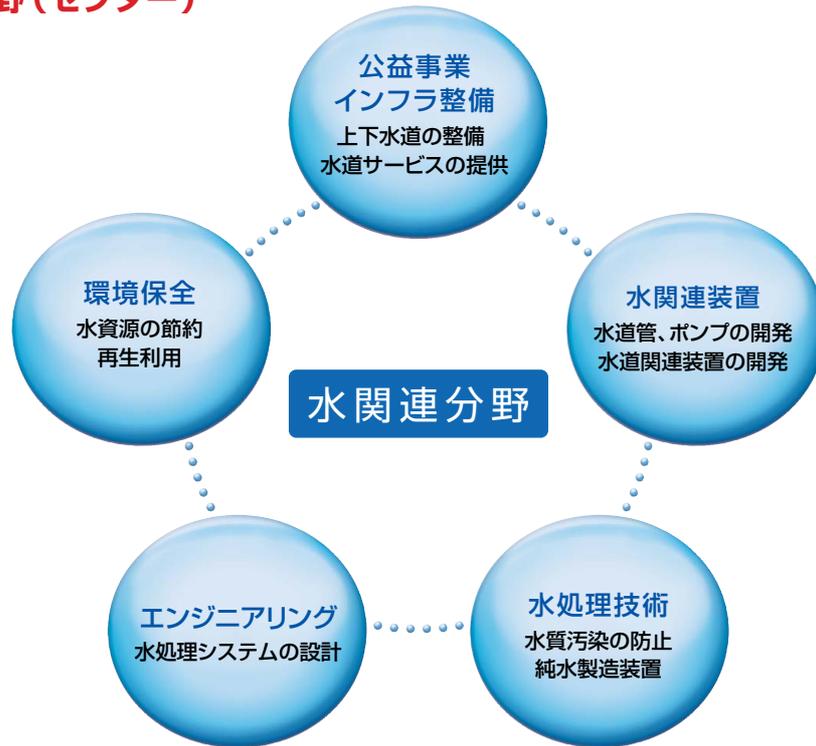
2.水関連分野で高い技術力を有する企業のうち、同事業から計上される売上高が全体の10%以上の企業

なお、上記以外に水関連分野で高成長が見込まれる企業へ、当ファンドの純資産総額の10%を上限に投資する場合があります。

## ポイント 2

水関連企業の特徴

### ■投資を行う5つの分野（セクター）



上記の投資対象セクターは今後変更される場合があります。

### ■水関連セクターの特色

#### 公益事業・インフラ整備・水関連装置

・必要不可欠なサービスを提供し、水道事業の民営化が進んでいます。

#### 水処理技術・エンジニアリング

・高い技術力が必要とされる廃水の再生利用等の分野は、淡水化と比較しコストが割安な利点があります。

#### 環境保全

・水資源の保護や効率利用を目的とした環境規制の強化が進んでいます。

本見通しなしいし分析は、作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

### ■水関連企業のリスク要因

水関連セクターは、上記に代表される環境変化に伴い今後の市場規模の拡大が期待されますが、参入企業の増加による競争激化等により水関連企業の事業環境が悪化する場合があります。

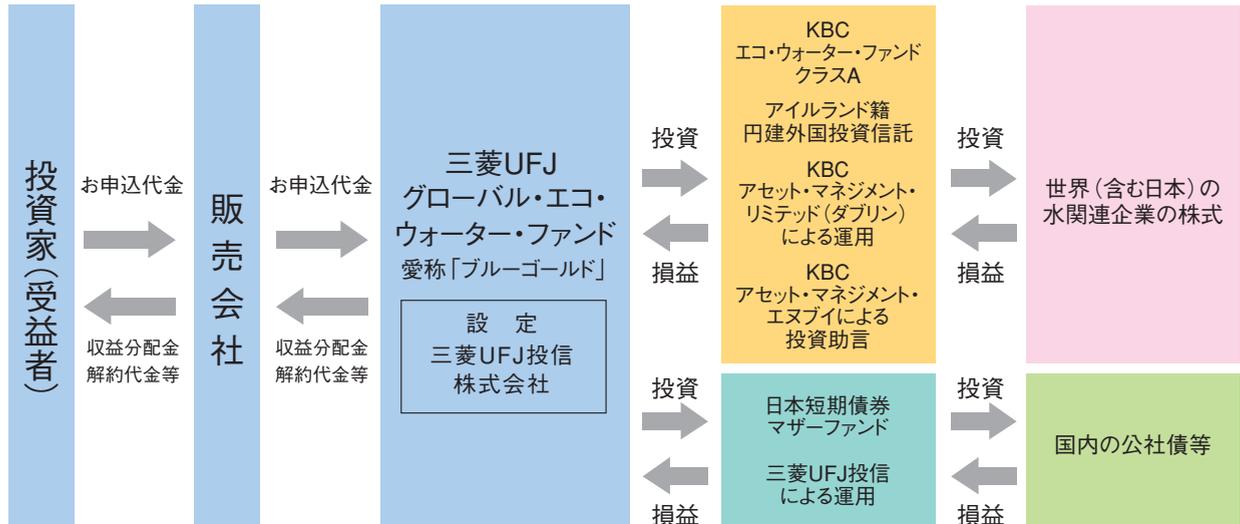
## 特色2 ファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。

- 当ファンドは、アイルランド籍円建外国投資信託「KBCエコ・ウォーター・ファンド クラスA」、および証券投資信託「日本短期債券マザーファンド」に投資を行う、ファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。
- 水関連企業の株式への実質的な投資は「KBCエコ・ウォーター・ファンド クラスA」を通じて行います。
- 当ファンドは、原則として為替ヘッジを行いません。したがって、基準価額は為替相場の変動の影響を受け、投資元金を割り込むことがあります。

### <投資する投資信託の選定条件・理由>

- 当ファンドの運用目標を達成するため、水関連株式で長期の運用実績を有するKBCアセット・マネジメント・リミテッド(ダブリン)が運用を行う「KBCエコ・ウォーター・ファンド クラスA」を選定しました。
- 円の余裕資金を効率よく運用するため、「日本短期債券マザーファンド」を選定しました。

## ■運営のしくみ



投資助言者、投資助言の内容、投資助言の有無等については、変更する場合があります。

## 特色3 円建外国投資信託の運用は、KBC アセット・マネジメント・リミテッド(ダブリン)が行います。

### KBC エコ・ウォーター・ファンド クラスAの特色

- 世界(含む日本)の水関連企業の株式へ投資を行います。
- 運用はベルギーの資産運用会社であるKBCアセット・マネジメント・エヌバイの子会社KBCアセット・マネジメント・リミテッド(ダブリン)が行います。
- 銘柄選定にあたっては、社会的責任投資(SRI)に関するリサーチにおいて長年の実績があるKBCアセット・マネジメント・エヌバイの投資助言を活用します。
- 原則として、為替ヘッジは行いません。したがって、基準価額は為替相場の変動の影響を受けます。

## ■ポートフォリオ構築プロセス

### 投資候補となる世界の水関連企業(90銘柄程度)

- 1.水関連事業から計上される売上高が、全体の過半数を占める企業
- 2.水関連で高い技術力を有する企業のうち、同事業から計上される売上高が全体の10%以上の企業
- 3.社会的責任投資(SRI)の観点から、不適切と判断する銘柄を除外なお、上記以外に水関連分野で高成長が見込まれる企業へ、当ファンドの純資産総額の10%を上限に投資する場合があります。

### 長期戦略配分の策定

運用・調査チームとEACが共同で各水関連分野への配分を決定

### ポートフォリオ構築(60銘柄程度)

個別企業の業績動向、相対的な魅力度比較および地域バランス等を考慮して決定

上記のポートフォリオ構築プロセスは今後変更される場合があります。

## ■KBCアセット・マネジメント・エヌバイについて

- 【歴史】.....
- 1948年ベルギーの銀行であるクレディットバンクの資産運用部門として設立。
  - 2000年クレディットバンク、セラバンク、ABBインシュランスの3社が合併し、KBC銀行・保険グループが設立されたのに伴い、同グループの資産運用会社となる。
  - 2000年KBCアセット・マネジメント・リミテッド(ダブリン)をアイルランドに設立。

- 【運用の特徴】.....
- 社会的責任投資(SRI)に関するリサーチにおいて30年以上の実績を有するパイオニア的存在です。
  - 2000年12月に世界の水関連企業の株式に投資を行うファンドをベルギーで設定。水関連ファンドとしては長期の運用実績を有しています。(当ファンドの投資対象ファンドではありません)

- 【EAC(環境顧問委員会)について】.....
- 環境問題の観点から、学識経験者の投資アドバイスを受ける目的で1990年に設立した組織。
  - 環境問題に精通した社外のエキスパート複数名により構成され、同社の銘柄選定プロセスにおいて重要な役割を果たしています。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ファンドのリスクについては、「当ファンドの主なリスク」をご参照ください。

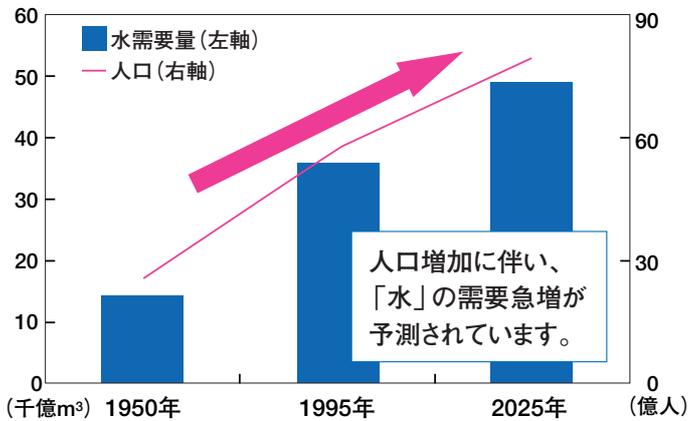
# 三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド (愛称:ブルーゴールド)

参考情報

## 「ブルーゴールド」

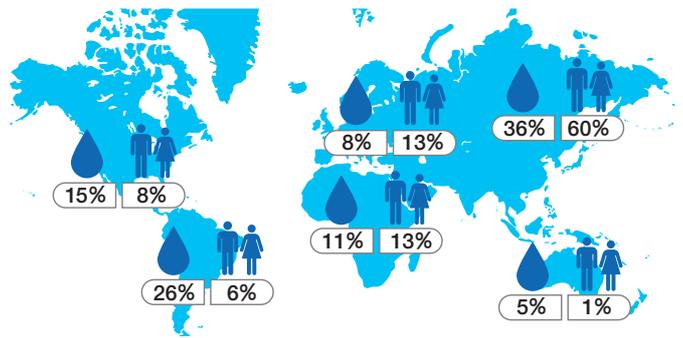
生命維持に不可欠な資源「水」。  
その希少性から「青い金脈(ブルーゴールド)」として世界の注目を集めています。

### ■世界人口と水需要量の推移



(出所) 環境省HP、統計局HPより三菱UFJ投信作成

### ■世界の利用可能な淡水と人口の分布



アジア地区での深刻な水不足が懸念されています。

利用可能な淡水は、地球上の水全体の約0.8%

世界全体における利用可能な淡水の量と人口をそれぞれ100%として各地域に分布する割合を表しています。

(出所) UNESCO (2003)

増大する需要と限られた供給

懸念される水不足

～需要と供給の大きなギャップ～

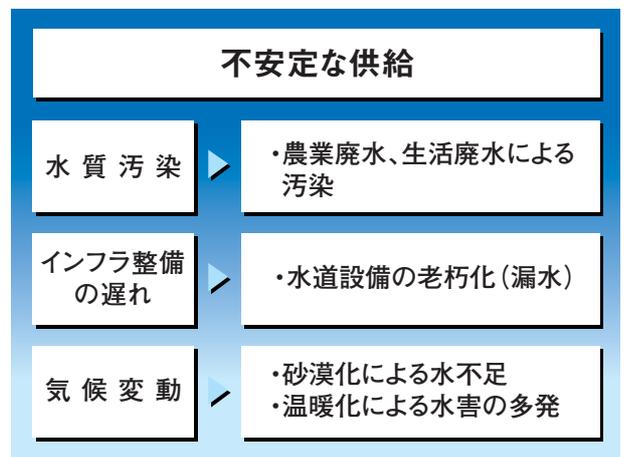


### ■上昇する世界の水道料金



(出所) KBC アセット・マネジメント・エヌブイ

### ■供給が不安定な要因



本見通しなしいし分析は、作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動等を示唆・保証するものではありません。

## 当ファンドの主なリスク

当ファンドへの投資にあたっては、主に以下のリスクを伴います。このため、お申込みの際は、当ファンドのリスクを認識・検討し、慎重に投資のご判断を行っていただく必要があります。

### ■市場リスク

#### (価格変動リスク)

当ファンドは、株式を実質的な主要投資対象としており、株式の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、当ファンドはその影響を受け株式の価格が下落した場合には基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

#### (為替変動リスク)

実質的な主要投資対象である海外の株式は外貨建資産ですので、為替変動の影響を受けます。そのため、為替相場が円高方向に進んだ場合には、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

### ■信用リスク

信用リスクとは、有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となること等をいいます。当ファンドは、信用リスクを伴い、その影響を受けますので、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

### ■流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。例えば、組み入れている株式の売却を十分な流動性の下で行えないときは、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

#### [留意事項]

- ・当ファンドは、一定の運用成果を保証するものではありません。
- ・当ファンドは、実質的に特定のテーマ・業種に絞って投資を行いますので、これらの動向によっては、株式市場全体の動きと当ファンドの基準価額の動きが大きく異なることがあります。

## 当資料に関するご注意事項

- 当資料は、三菱UFJ投信が作成した販売用資料です。投資信託の取得のお申込みを行う場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

## お申込みメモ

お申込みの際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

- **申 込 時 間** お申込み・換金請求の受付は、原則、毎営業日の午後3時までです。  
販売会社によっては、上記より早い時刻に受付を締め切ることとしている場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。  
委託会社は、信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
- **申 込 不 可 日** ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日、ロンドン証券取引所の休業日、ロンドンの銀行の休業日、アイルランド証券取引所の休業日、およびダブリンの銀行の休業日は、お申込み・換金請求ができません。
- **申 込 単 位** お申込みには分配金受取りコース(一般コース)と分配金再投資コース(累積投資コース)があります。申込コースおよび申込単位は、販売会社により異なります。くわしくは、取扱い窓口にお問合せください。
- **申 込 価 額** 申込受付日の翌営業日の基準価額
- **換 金 単 位** 換金単位は、販売会社により異なります。くわしくは、取扱い窓口にお問合せください。
- **換 金 価 額** 換金請求受付日の翌営業日の基準価額一信託財産留保額  
換金代金受取り日は、原則として換金請求受付日から起算して6営業日目以降となります。
- **信 託 期 間** 2007年7月27日から2014年7月22日まで  
ただし、ファンドの残存口数が30億口を下回った場合等には、信託期間の途中で信託を終了させることがあります。
- **決算および分配** 原則として、年1回の決算時(7月22日、休業日の場合は翌営業日)に収益分配方針に基づき分配を行います。  
ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。  
分配金再投資コース(累積投資コース)の場合、収益分配金は税金を差し引いた後、原則として再投資されます。

### ■ お客さまの負担となる費用

①申込時に直接負担いただく費用	
申込手数料	申込価額× <b>3.15% (税抜 3%)</b> を上限として販売会社が定める手数料率 販売会社により償還乗換優遇措置の適用を受けることができます。償還乗換による取得の場合は、償還金額の範囲内で取得する口数について無手数料となることがあります。くわしくは、取扱い窓口にお問合せください。 申込手数料は、消費税等相当額を含みます。なお、消費税率に応じて変更となることがあります。
②換金時に直接負担いただく費用	
信託財産留保額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額× <b>0.3%</b>
③償還時に直接負担いただく費用	
	なし
④保有期間中にファンドが負担する費用(間接的に負担いただく費用)	
信託報酬	純資産総額の <b>年1.05% (税抜 年1%)</b> 受益者が負担する実質的な信託報酬率(上限値)は、 <b>年1.75% (税込)</b> 上記上限値は、投資対象とする投資信託証券における信託報酬率を含めた実質的な信託報酬率を算出したものです。 信託報酬は、消費税等相当額を含みます。なお、消費税率に応じて変更となることがあります。 ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬率には消費税等相当額はかかりません。
その他の費用	上記のほか、ファンドでは売買委託手数料、監査報酬、組入資産の保管等に要する諸費用等を負担しております。 「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

お客さまにご負担いただく費用等の合計額については、お申込代金や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- **課 税 関 係** 個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。  
当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

委託会社(信託財産の運用の指図等) 三菱UFJ投信株式会社  
 受託会社(信託財産の保管・管理等) 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 販売会社(募集・換金の取扱い等) 販売会社については、表紙に記載の三菱UFJ投信の  
 照会先でご確認いただけます。



三菱UFJ投信より  
基準価額・分配金をメール配信  
<http://k.m-muam.jp/a/1/3>

\*メール配信は設定日より開始します。  
\*メール配信対象外ファンドもあります。

